

フィリピンの文化行政を担うエグゼクティブ・ディレクターを招へい！ ～国内の文化遺産・世界遺産の専門家と対話を促進～

国際交流基金（JF）は、2025 年 10 月 20 日（月）から 10 日間にわたり、フィリピン国家文化芸術委員会のエグゼクティブ・ディレクターである、エリック・ババー・ゼルド（Eric Babar Zerrudo）氏を招へいます。

本招へいは、日本と ASEAN 間における次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「次世代共創パートナーシップ—文化の WA2.0—」の一環として実施する「文化人短期招へい事業」によるものです。同事業は、ASEAN 諸国より各分野を代表する文化人や専門家等を日本に招へいし、日本の文化と社会を体験してもらうとともに、関係者との対話や意見交換を通して人的ネットワークを形成する取り組みです。



ゼルド氏は、2024 年より、文化芸術振興、文化遺産保護・活用、国際文化交流などを管轄する、日本の文化庁に相当する組織であるフィリピン国家文化芸術委員会（NCCA / National Commission for Culture and the Arts）を、エグゼクティブ・ディレクターとして率いています。文化遺産・開発、カルチュラル・ディプロマシーを専門とし、アジア最古の大学、サント・トマス大学准教授（文化遺産学）、同大学大学院熱帯文化財・環境保全センター（CCCPET）所長を務めるほか、フィリピン内外で研究・教育に従事。また、ICOMOS（国際記念物遺跡会議）世界遺産調査パネル、UNESCO アジア世界遺産リスト国際専門官等、世界遺産関連の国際的な要職を数多く歴任しています。

1990 年代初期には、国費留学生として東京文化財研究所と東京大学大学院（表象文化論）で研究した経験を持つ知日派でもあります。

ゼルド氏は滞在中、日本各地の世界遺産や文化遺産を視察し、これらの運営管理方法や保護・保存修復の現場や制度、今後の展望等について、関係機関や専門家との意見交換を行います。地域のアイデンティティを象徴する世界／文化遺産を通じて、日本とフィリピン、さらには ASEAN 諸国との国際連携につながる対話の場を創出します。滞在期間中は、インタビューや取材にもご対応いただけますので、ぜひご検討いただけますようお願い申し上げます。

記

事業概要

事業名称：文化人短期招へい事業

主催：独立行政法人 国際交流基金（JF）

被招へい者：エリック・ババー・ゼルド（Dr. Eric Babar Zerrudo）
／フィリピン国家文化芸術委員会エグゼクティブ・ディレクター

招へい日程：2025 年 10 月 20 日（月）～10 月 29 日（水）

訪問地：東京都、茨城県、岐阜県、京都府、奈良県、和歌山県、大阪府

使用言語：英語（必要に応じて通訳付き）

日程（予定）

10月20日（月）	来日
10月21日（火）-23日（木） 【東京／茨城／岐阜】	筑波大学大学院（世界遺産学学位プログラム）、矢中の杜（旧矢中邸）、東京大学大学院工学系研究科、東京国立博物館、白川郷、白川村教育委員会、その他文化遺産施設や関係機関・人物等
10月24日（金）-28日（火） 【京都／奈良／和歌山／大阪】	文化庁、大徳寺方丈、なら歴史芸術文化村、京都・奈良の世界遺産・文化遺産など、紀伊山地の霊場と参詣道、和歌山県世界遺産センター、百舌鳥・古市古墳群、その他文化遺産施設や関係機関・人物等
10月29日（水）	帰国

※現在、旅程の詳細を調整中です。最新情報及び取材については広報担当にお問い合わせください。

事業について

「文化人短期招へい事業」は、オピニオンリーダーとして高く評価される諸分野の文化人を ASEAN 諸国から日本に約 10 日間招へいし、日本側の関係機関・関係者とのネットワーキング、面談・対談、メディア取材、講演会等を通じて、対日関心および理解を深めるとともに、本人の活動や魅力を日本国内に発信することを目的とします。ASEAN 諸国での対日関心喚起・親日感の醸成および日ASEAN 友好関係の促進に向けた一助となることを目指します。

本年度は下記の文化人を招へい予定です（実施済みを含む）。

時期	招へい国	招へい者	役職など
5 月	タイ	パット・ブンニティパット氏 Mr. Pat Boonnitipat	映画監督（『おばあちゃんと僕の約束』）
7 月	ラオス	ヴァンペン・ケオパンニャー氏 Ms. Vanpheng Keopannha	ラオス国立博物館館長
8 月	カンボジア	ソー・ピナ氏 Ms. So Phina	カンボジア創造産業振興協会エグゼクティブ・ディレクター、作家、詩人
10 月	フィリピン	エリック・ババル・ゼルド氏 Dr. Eric Babar Zerrudo	フィリピン国家文化芸術委員会エグゼクティブ・ディレクター
1 月	ミャンマー	サン・モン・アウン氏 Mr. San Mon Aung	出版社・書店経営者、詩人・作家、ミャンマーペンクラブ事務局長

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－について

JF は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関です。

JF では 2024 年から 10 年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」を展開しています。

このプロジェクトは、2013 年から約 10 年間にわたって数多くの交流事業をおこなった「文化の WA（和・環・輪）プロジェクト～知り合うアジア～」を発展的に継続するもの。日本語パートナーズ事業と、双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－公式サイト <https://asiawa.jpf.go.jp/>では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

以上

SNS で国際交流基金の最新情報を発信中



[TheJapanfoundation](https://www.facebook.com/TheJapanfoundation)



[@thejapanfoundation](https://www.youtube.com/@thejapanfoundation)



[@japanfoundation](https://twitter.com/japanfoundation)



[@japanfoundation](https://www.instagram.com/japanfoundation)